



編集；別府市消防本部・別府市消防団本部

別府市消防団報 『暖』

4号

ごあいさつ



別府市消防団長
片岡 典之



別府市消防長
河原 靖繁

団員の皆様には、火災をはじめとする各種災害に身を挺して郷土を守る、崇高な任務を担っていただき感謝に堪えません。

昨年は自然災害等が多発し、残念ながら日田市消防団員1名の尊い命が失われました。

本市においても大規模な災害がいつ起こりうるかわかりません。

どのような災害にも立ち向かえるよう、訓練を通じて様々な知識や技術を身につけ、各種災害に備えて頂きたいと思います。

市民や、別府市を訪れる観光客が安心して過ごせる街を目指し、今後ともご尽力をお願いします。

この度、別府市消防団報「暖」4号の発刊にあたり、ごあいさつ申し上げます。

団長をはじめ団員の皆様には、「市民の生命・身体・財産を守る」という尊い郷土愛の精神で、日頃の消火活動のみならず、昼夜を問わず災害対応を果敢に行っていただき深く感謝申し上げます。

平成29年中は60件もの火災が発生しましたが、団員の皆様のご協力によって、被害を最小限度に止めることができました。

今後とも消防団・消防本部がさらに連携を深め、より円滑な消防活動ができるようご協力をお願い申し上げます。

大規模火災発生！

平成29年2月5日（日）の19時頃、楠町において大規模な火災が発生し、この火災で計7棟が焼損するとともに、3名の尊い命が犠牲となりました。

しかしながら強風下の中、木造建物が密集している悪条件で延焼範囲が1区角に留まったのは、消防団・消防署がうまく連携し活動できた結果であったと確信しています。

他市町村の消防関係者からも「よくあの範囲でくい止めたな」などと賞賛のお言葉をいただく機会が何度もありました。

本火災において功を奏したのは、延焼防止を主眼とした放水活動であったと現場指揮者から聞きました。

特に北面の道路は幅員が約2mとかなり狭隘であったにも関わらず、延焼を阻止できたのは放水が有効であった証拠です。

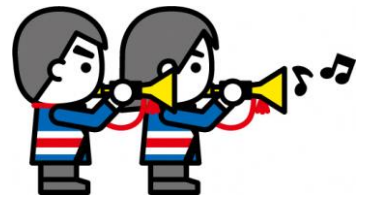
火災において最も必要なものは【水】・【機械】そして、それらを扱う【人】の力と言われており、今回の火災では特に【人】の力が大きく働いたのではないかと感じました。

※消防署・消防団 延べ出動車両27台 延べ出動人員173名

鎮火時間 同日23時00分



施設消防団係



女性分団ラッパ隊「いざ、出陣！！」

ラッパ隊は平成29年2月に発隊し、現在8名の女性分団員で自衛隊員の指導のもと、月2回の厳しい練習を重ねています。

最初は、音の出ない団員も多かったのですが、月2回の練習はもちろん、家での個人練習も欠かさず行い、ようやく平成30年消防出初式で、自衛隊員の力も借りながら皆さんの前で演奏することができました。

今後は、消防団行事を始め、ラッパで市民や観光客に、「女性消防団ラッパ隊」を印象付けられるよう一層努力いたしますので、団員・消防本部員・署員の皆様方へこれまで以上のご指導・ご協力と暖かい応援をよろしくお願いいたします。

女性分団 副分団長 與品 春江



平成30年
消防出初式での決意表明



放水点検ラッパ演奏

団幹部紹介

団本部

団長 片岡 典之
副団長 藤内 英伸
副団長 関 正勝
本部分団長 中嶋伸一郎
本部分団長 後藤 一彦
本部分団長 佐藤 隆博

分団長

女性分団長 原田かほる
第1分団長 小野 征治
第2分団長 月足 原之
第3分団長 浦野 洋史
第4分団長 堀 正幸
第5分団長 岩尾 一裕
第6分団長 彌田 万平
第7分団長 平松 幹雄
第8分団長 脇 博之
第9分団長 加藤 修二
第10分団長 松田 正一
第11分団長 梶原 英敏
第12分団長 永井 幸己
第13分団長 荒金日出夫
第14分団長 齋藤 孝一
第15分団長 後藤 毅
第16分団長 小川 健
第17分団長 後藤 利夫

平成29年度新入団員紹介

○女性分団 松原直美 荒金美代子 井上真帆 後藤ひとみ 木下彩子	○第3分団 吉田大道 斉木翔太郎	○第4分団 関伸章	○第5分団 脇和也 甲斐清隆	○第6分団 彌田昌克	○第8分団1部 宮内裕太 山本誉志樹	○第8分団2部 高橋良輔	○第9分団2部 長瀬彰太	○第10分団1部 坂口知美 金戸淳一 高橋恵輔	○第11分団 鈴木慎也 井口恵斗 佐藤公紀	○第12分団 坂本豊浩 松田高志 仁田野麻紀	○第14分団 首藤高文	○第16分団 紫牟田幸代 坂本亮介
---	------------------------	--------------	----------------------	---------------	--------------------------	-----------------	-----------------	----------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	----------------	-------------------------

叙勲受賞者

平成29年春 端宝単光章
元第16分団長 久保敬司様

平成29年秋 端宝単光章
元副団長 内村誠七様

受賞おめでとうございます。

全国女性消防団員活性化広島大会に参加しました！

全国女性消防団員活性化広島大会に参加して

平成29年11月16日（木）17日（金）広島県の広島グリーンアリーナで開催された全国女性消防団員活性化広島大会の防火防災啓発劇に、全国約1、500分団の中から別府市消防団・岡山県久米南町消防団・広島県福山市消防団の3団体が選出されました。

私たち別府市消防団は、女性団員9名で、大分県に実在した、とんち話で有名な「吉四六さん」をもとにした防火防災啓発劇を、猛練習を重ね披露いたしました。

啓発劇は、吉四六さんとおへまさんの掛け合いで始まり、留守番を言われた吉四六さんが、



<防火啓発劇>

「火を見ちゃってよ」といわれ、火を見ているうちに火事になってしまうが、火をただ見てるだけではなく、火事になる前に火を消してくださいという、とんち話で、笑いも取れ、劇中や劇の最後に、別府市のPRも忘れず盛り込み、会場も大変盛り上がっていました。

今後、このような劇などを、幼稚園や小学校などで披露できる機会を増やしていき、少しでも、別府市の防火・防災のために女性分団が活躍出来ればと思っていますので、今後ご指導、ご協力をお願いいたします。

女性分団 分団長 原田 かほる

【今回の大会に参加して】

「ようこそ 平和を未来につなぐ広島へ」の歓迎メッセージのもと、全国の女性消防団員が、広島に集い、女性の特色をいかしてさまざまに活躍する全国女性団員の活動状況や当面する課題などについて情報交流をし、志を同じくする消防女子仲間の結束を一層強固にしました。

今、火災・自然災害が相次ぐなか、私たちは、家族の、そして地域の安全を守り、より豊かな幸せを実現するため、この大会でしっかりと結び合った全国の絆を大きな励みにして大会テーマである「みんなで減災！輝け消防女子」を合言葉に、女性消防団員の力を一層発揮して行こうと思います。

また、防火・防災啓発劇に参加して、練習はしてきたが、本番で出来るかとても心配していましたが、各地の女性団員から、意見交換会などで「大変面白くてよかったよ」や「別府に行ったらまた見せて」など質問攻めに合うほど、反響があり、初めて劇に参加して、何事もチャレンジすれば、何か違う力が出るものだと、思いました。

最後に、今回の大会参加に向けて、ご尽力いただきました皆様方に、感謝申し上げます。

第2分団格納庫が新しくなりました

別府市消防団第2分団は北浜地区などを管轄していますが、これまでの格納庫は昭和47年に建設され築44年を経過し老朽化が激しく、また耐震基準を満たしていなかったため、現地建て替えが計画され、今回完成の運びとなりました。

平成29年4月15日に完成お披露目会が催され、長野市長をはじめとした多くの来賓の方からお祝いのお言葉をいただきました。



- 災害に強い鉄骨造りの構造
- 1階～ポンプ車の車庫及び倉庫
- 2階～会議室
- 延べ床面積
103.89㎡
- 事業費
37,411,632円

平成29年度の更新車両紹介



- ☆団本部指揮車
- シャーシ SUBARU FORESTER 2.0EyeSight
- 型式 SUV型
- 排気量 1,990cc
- 乗車定員 5名
- (公財)日本消防協会から交付されました



- ☆第9分団1部 小型動力ポンプ付積載車
- シャーシ 日野シャーシ
- 型式 ダブルキャブオーバー
- 排気量 1,990cc
- 乗車定員 9名
- 小型動力ポンプ(B-3級)を積載しています



消防団員募集中！ あなたの力が必要です！

消防団とは、地域防災の要として「地域や家族を守りたい」そんな熱い思いで活動続ける団体です。



随時募集中！



【問い合わせ・申し込み先】

別府市消防団各分団長または
別府市消防本部 庶務課

☎代表 25-1122 まで！